



かけはし

248号

2026年6月

ご自由にお持ちください

特集

脳卒中を切らずに治す脳血管内治療とは？

リハビリ通信

体を支える足部について

父と息子
 時には、
 ライバル
 時には
 戦友
 やがて
 どこかが
 似てくる
 同素体



作：南 久美子

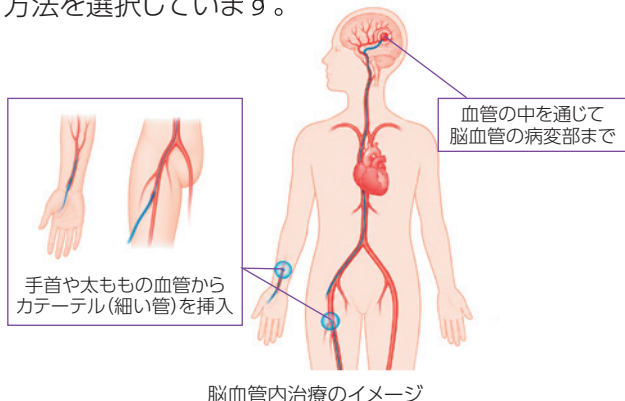
脳卒中を切らずに治す 脳血管内治療とは？



1. 脳血管内治療とは？

「脳血管内治療」とは、頭を切り開かずに、手首や太ももの血管からカテーテル(細い管)を挿入し、血管の中を通じて脳血管の病変部まで直接アプローチする治療法です。

脳動脈瘤に対する破裂予防治療として従来から行われてきた「開頭手術(クリッピング術)」は確実性が高い一方、頭部に傷が残ること、術後の回復に時間がかかることが患者さんの負担となる場合があります。これに対して脳血管内治療は頭部に傷ができず、術後の安静期間も短いため、高齢の方や体力的な不安がある方にも適している場合があります。どちらが最適かは、動脈瘤の大きさ・形・場所、患者さんの年齢や全身状態によって異なります。当院では脳神経外科・脳神経内科が連携し、一人ひとりに合った方法を選択しています。



脳血管内治療のイメージ

2. 脳血管内治療における脳動脈瘤治療の3本柱

脳卒中の中でも特に深刻なのが「くも膜下出血」で、発症者の約3分の1が命を落とすとされています。その主な原因は脳動脈瘤の破裂です。脳血管内治療には、コイル塞栓術、フローダイバータースtent留置術、そして最新の「WEB(Woven Endo Bridge)留置術」の3種類があります。当院はこれら国内で使用可能な全デバイスを揃えており、患者さんの病態に応じた最良の選択肢を提示できる体制を整えています。

■ コイル塞栓術



動脈瘤の中にカテーテルを誘導し、形状記憶のコイル(プラチナ製の綿の様な物)を詰め、動脈瘤内部を血栓で満たして破裂を防ぐ方法です。現在最も広く行われている脳血管内治療です。

■ フローダイバータースtent留置術



編み目の非常に細かい特殊なstentを脳動脈瘤のある動脈の内側に沿って留置し、動脈瘤への血流を徐々に遮断することで動脈瘤を血栓化させる方法です。コイルでの治療が難しかった大きな動脈瘤やくびれがない動脈瘤に特に有効ですが、完全な効果が出るまで半年から1年程度かかります。当院では2022年1月より導入し、30件以上を実施しています。

■ WEB留置術

NEW

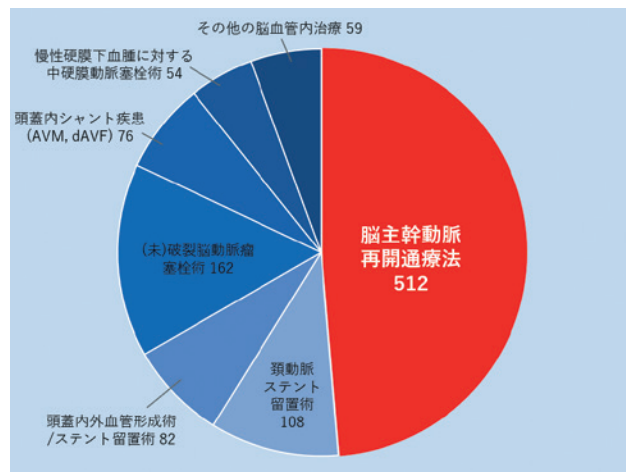


金属製の細かい網目状の袋(WEB)を動脈瘤の内部に留置するだけで血流を遮断する、2025年に当院が新たに導入した最新デバイスです。これまでのstentを使う治療では、術後に抗血小板薬(血液をサラサラにする薬)を2種類・半年~1年にわたって服用する必要がありましたが、WEBは通常1種類・約1ヶ月程度に短縮できることが最大のメリットです。当院は滋賀県内で2人目となる実施医ライセンスを取得し、すでに3例の治療を成功させています。

3.脳血栓回収術は滋賀県内の約3分の1を実施

当院の脳神経血管内治療センターは2016年5月の開設以来、累計1,054件の脳血管内治療を実施してきました。なかでも重症脳梗塞に対する脳血栓回収術(脳動脈を閉塞させている血栓をカテーテルで直接回収する治療)は512件に上り、滋賀県全域における同治療の約3分の1を担っています。直近の7年間は毎年50件以上の緊急手術を遂行しており、地域の脳卒中医療に欠かせない存在となっています。

脳梗塞の治療には「Time is Brain(時間は脳なり)」という言葉があります。脳の神経細胞は血流が途絶えると1分間に約190万個が失われるとも言われており、一刻も早い治療が患者さんのその後の回復を大きく左右します。当院では救急搬入から治療開始までの時間を少しでも短縮できるよう、脳神経内科・脳神経外科・救急集中治療科の医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士が一体となって、日々研鑽を続けています。



済生会滋賀県病院における脳血管内治療の内訳 (※2025年12月末時点)



脳神経血管内治療センターのスタッフ (※脳血管内治療1,000件突破時)

4.SCU(脳卒中集中治療室)の存在

SCU (Stroke Care Unit) とは、脳卒中発症直後の急性期に特化した集中治療室です。当院のSCUは2017年に6床で開設し、2021年には12床へと増床しました。24時間365日、経験を積んだ脳神経内科医・脳神経外科医が常駐し、急変にも即座に対応できる体制を整えています。また当院は日本脳卒中学会より「一次脳卒中センター(PSC)コア」として認定されています。このPSCコア認定かつSCUを有する施設は滋賀県内でわずか3施設しかありません。



SCU(脳卒中集中治療室)

読者の皆さまへ

脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)は、早期発見・早期治療が何より大切です。初期症状としては以下のようなものが挙げられます。

- ・ 突然の激しい頭痛やめまい
- ・ 片側の手足・顔のしびれや麻痺
- ・ 言葉が出にくい・ろれつが回らない
- ・ 視野が欠ける、二重にみえる など

これらの症状が**突然**表れるのが脳卒中の特徴です。また、ご家族に脳卒中・動脈瘤の既往がある方も、ぜひ一度専門医にご相談することをお勧めします。

脳神経血管内治療科部長(脳神経内科)
脳神経血管内治療センター長

武澤 秀理 (たけざわ ひでさと)

【専門医・資格等】

- ・ 日本内科学会 総合内科専門医
- ・ 日本神経学会 専門医・指導医
- ・ 日本脳神経血管内治療学会 専門医
- ・ 日本脳卒中学会 専門医・指導医
- ・ 「液体塞栓物質を用いた塞栓術実施基準」にもとづく実施医
- ・ PIPELINE 実施医
- ・ FRED 実施医
- ・ WEB 実施医



リハビリ通信

体を支える足部について

リハビリテーション技術科 理学療法士 若林 孝明

人間の足部は…

足は身体に対して2%程度の体積しかなく、大きな体を小さな足で支えています。足の骨は片方で26個(種子骨を除く)、33個の関節、100を超える靭帯や腱・筋肉で構成されています。この数字だけでも、人体の中でも複雑で精密な構造物であることが分かりますよね。足は単なる塊ではなく小さな骨が互いに動き合うことで、柔らかさと硬さを切り替えています。

足ってどういう役割をしているの？

足は「体を支える」「衝撃を吸収する」「前に進む力を生む」という3つの大切な役割があります。

① 体を支える(安定性)

立っているとき、体重をしっかりと支えています。バランスを取るために細かく調整しています。

② 衝撃をやわらげる(クッション)

歩く・走るときの衝撃を吸収して、膝や腰への負担を減らします。

③ 前に進む力をつくる(推進力)

足の指や足裏を使って地面を蹴り、スムーズに歩けるようにします。

足部の3つの役割を行うには、足のアーチというものが重要です。

足のアーチとは

足の裏にあるカーブ(丸み)のことです。いわゆる「土踏まず」をイメージするとわかりやすいです。アーチは3つあります。

① 内側アーチ(土踏まず):一番よく知られているカーブ

② 外側アーチ:足の外側の安定を作る

③ 横アーチ:足の指の付け根にある横のカーブ



足のアーチを保つためにこんな運動がお勧めです！

① 足の指をしっかり使う

アーチは骨と筋肉で支えられています。特に足の指の筋肉が弱くなると、アーチは崩れやすくなります。

足指グーパー:足指を曲げる・伸ばす、足指を開く・閉じる。

タオルギャザー:右の図を参考にして下さい。

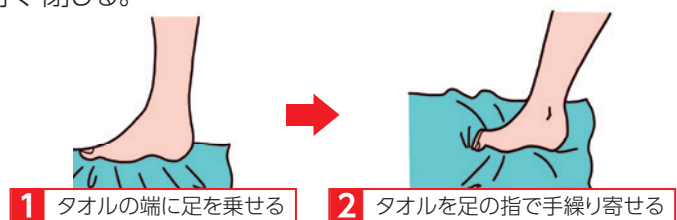
② ふくらはぎの筋肉を鍛える:かかと上げ

ふくらはぎは歩くときのバネを作る筋肉です。

ここが弱いとアーチの働きも落ちます。

③ 足裏・ふくらはぎのストレッチ

筋肉が硬いとアーチがうまく働きません。足の指を反らして伸ばしたり、アキレス腱を伸ばしましょう。



ドクターヘリが新機体に!見学会には約 150 名が来場

昨年度、京滋ドクターヘリは整備士不足により運休(ヘリを飛ばせない日)になることもありましたが、今年4月より運航委託会社に変更となりました。これによって整備士不足の問題が解消され、安定した運航が再開されています。また、運航会社の変更に伴い、機体も新しくなりました。

4月18日(土)には新機体のお披露目を兼ねたドクターヘリ見学会を開催し、約150名の方々にお越しいただきました。参加された皆さまには新しい機体をご覧いただき、記念写真を撮影していただいたりと、ドクターヘリを間近に感じていただける機会となりました。

ドクターヘリ見学会は偶数月の第3土曜日に定期開催しています。事前のお申し込みは不要ですので、ぜひお気軽にお越しください。詳しくは滋賀県のホームページをご覧ください。



新外来棟の工事の進捗をお知らせします

2024年7月より、本館南側(旧2号館付近)において新外来棟の建設工事を進めています。現在は旧2号館の解体が完了し、新外来棟の建設工事が本格的に始まっています。完成は2027年6月を予定しています。

新外来棟では、内視鏡センターや化学療法センターの拡充、MRIの増設など外来診療機能の大幅な強化をはじめ、ワンフロアでほぼすべての健診が受けられる健診センター(女性専用エリアも設置)、入院前から退院後まで一貫してサポートするPFMセンターの立ち上げなど、さまざまな機能が充実する予定です。また、4階の市民ホールは災害時に災害対策本部として活用できる設計となっており、災害拠点病院としての機能もさらに強化されます。

5月末時点では骨組みが徐々に組み上がり、工事の進み具合が少しずつ感じられるようになってきました。工事の様子は当院ホームページからもご確認いただけます。1か月ごとに写真を更新しておりますので、完成までの軌跡をぜひご覧ください。



新外来棟に関わる
お知らせはこちら

皮膚科からのご案内「常勤医着任で週5日診療へ」

2026年4月より、皮膚科常勤医として力武里菜(りきたけ さとな)医師が着任されました。これまで当科は非常勤医師のみの診察でしたが、4月からは週5日の外来診療が可能となりました。

皮膚科では、アトピー性皮膚炎・蕁麻疹・带状疱疹などの皮膚感染症・円形脱毛症・巻き爪・皮膚の小さな腫瘍の切除まで、幅広い皮膚のお悩みに対応しています。アトピー性皮膚炎では、塗り薬でコントロールが難しい場合に注射による治療(生物学的製剤)も導入しています。また、急速に進行する円形脱毛症に対しては入院での治療にも対応しています。

「肌荒れが続いている」「湿疹がなかなか治らない」「皮膚にできものがある」など、気になる症状がございましたら、お気軽にご相談ください。



皮膚科 医長 力武 里菜

耳鼻咽喉科からのご案内「身近なお悩みから腫瘍まで」

2026年4月より、耳鼻咽喉科部長に永尾光(ながお ひかる)医師が着任されました。以前は京都府立医科大学附属病院に勤務し、のどや首まわりの腫瘍を専門に多くの手術を手がけてこられました。当院でもその経験を活かし、幅広い耳鼻咽喉科疾患の診療にあたられます。

耳鼻咽喉科では、中耳炎・難聴・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎・扁桃炎といった身近な病気から、のどや首にできた腫瘍、甲状腺の病気、いびきや睡眠時無呼吸、飲み込みにくさ(嚥下障害)など、幅広い症状に対応しています。

「なんとなく耳が聞こえにくい」「鼻づまりが続いている」「首にしこりがある」など、気になる症状がございましたら、お気軽にご相談ください。



左)耳鼻咽喉科 部長 永尾 光
右)耳鼻咽喉科 専攻医 伊藤 智咲

下肢外来のご案内

2026年4月13日(月)に下肢外来を開設しました。下肢外来とは、足の血流障害に起因するさまざまなトラブルを専門的に診療する専門外来です。当外来では、医師(循環器内科・形成外科・腎臓内科・心臓血管外科)と認定看護師、理学療法士が連携し、治療から生活指導までトータルケアを実施します。

◎以下の症状・お悩みのある方はご相談ください



足の傷が
なかなか治らない



皮膚の色が
変わってきた



歩くと足が
痛くなる



糖尿病や腎臓病があり、
足のケアが気になる

◎下肢外来の診療日(※紹介患者限定の予約制)

	月	火	水	木	金
下肢外来	○	×	○	○	○

◎ご予約・お問い合わせはこちら

地域医療連携室 予約受付:077-551-1294(直通)

日帰り人間ドックのお申し込みはWeb予約が便利です

日帰り人間ドックのご予約は、24時間いつでもお申し込みいただけるWeb予約が便利です。2026年3月より、各種健康保険組合・共済組合に加入中の方もWeb予約が可能になりました。ただし、頭部MR検査・肺がん検査(胸部CT)・血管検査などの一部オプション検査はWeb予約に対応しておりませんので、ご希望の場合はお電話にてお申し込みください。

詳しくは、当院のホームページをご覧ください。



個人申込のほか協会けんぽや健康保険組合・共済組合に加入中の方もWeb予約の利用が可能になりました!



詳しくは
ホームページを
ご覧ください

当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。



▲HPはこちら

まちの診療所紹介

かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。自宅や職場の近くにかかりつけ医をもっていただくことをお勧めします。



滋賀県大津市際川3丁目19-13
TEL. 077-514-7312

【診療科目】

皮膚科・小児皮膚科

【診療時間】

9:00~12:00
14:00~16:30

【休診日】

水曜、祝日
木曜・土曜・日曜の午後



▲HPはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	/	○	○	○	○
14:00~16:30	○	○	/	/	○	/	/

大津市

うみのこファミリー皮膚科

院長 益野 由香 先生

~2026年4月13日 新規開院~

「うみのこ」という名称は、「われは湖の子〜」ではじまる「琵琶湖周航の歌」から拝借いたしました。琵琶湖を愛する地域の皆さまに親しみを持っていただき、気軽に受診していただけるクリニックとなれるよう、スタッフ一同力を合わせて努めてまいります。

私自身、小学生の頃からアトピー性皮膚炎で皮膚科にお世話になっていたことから、皮膚科医になりたくて医学部に入りました。当時は近所に皮膚科のクリニックもなく、総合病院も平日午前受診が必要で、なかなか受診もできず、塗り薬を少しずつ大切に使用していたことを、今でも歯がゆい思い出します。

そのような経験から、皮膚科を受診したくても受診できない学生の方々や、お仕事で忙しい世代の方々にも通っていただきやすいよう、土日診療も行います。

また、アプリにご登録いただくことで、時間予約の取得が可能となります。さらに、保険情報や事前問診をアプリ上であらかじめご登録いただくことで、待ち時間の短縮につながります。加えて、クレジットカードをご登録いただくと、会計をお待ちいただくことなくお帰りいただける体制を整備しておりますので、是非、ご利用ください。



滋賀県草津市西渡川1丁目21番14号
エルミナMCビル2階
・草津駅から徒歩8分
・エスクエア隣接
TEL. 077-514-7522

【診療科目】

婦人科

【休診日】

休診日：水曜午後・土曜午後・日曜・祝日
受付終了は診療時間の30分前となります。



▲HPはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:30~17:30	○	○	/	○	○	/

すべてのスタッフが女性です。また院内は女性のみ立ち入り可としております。

草津市

ねこのて婦人科クリニック

院長 田中 雅子 先生

~2026年6月1日 新規開院~

この度、縁あって草津市に開院することになりました、院長の田中雅子と申します。

女性は月経不順や月経痛をはじめ、子宮筋腫や内膜症など年齢を重ねるごとにさまざまな悩みを抱えるリスクがあります。私自身も月経痛や月経前症候群でしたが、低用量ピルで月経周期に振り回されていた日常が激変しました。

女性特有のトラブルを解消することで、皆さんの快適な毎日に猫の手くらいのお手伝いが出来たらと思っています。

安心してご相談いただける環境を提供できるよう、すべてのスタッフが女性です。日々の体調でご不安な点があれば、お買い物ついでにお気軽にお立ちよりください。



病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

かけはしNo.248 2026年6月

発行元 社会福祉法人 済生会滋賀県病院
〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号
TEL (077) 552-1221 (代) URL <https://www.saiseikai-shiga.jp/>